

製品名: Elf-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10400**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	67kDa

抗原情報

遺伝子名	ELF1
別名	ELF1; ETS-related transcription factor Elf-1; E74-like factor 1
遺伝子 ID	1997.0
SwissProt ID	P32519
免疫原	抗血清はヒト ELF1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 537-586

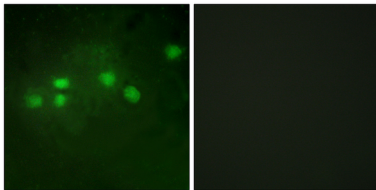
背景

この遺伝子は、E26 形質転換特異的関連転写因子をコードしています。コードされているタンパク質は主にリンパ球細胞で発現し、エンハンサーおよびリプレッサーとして機能し、様々な遺伝子の転写を制御します。選択的スプライシングにより、複数の転写バリア

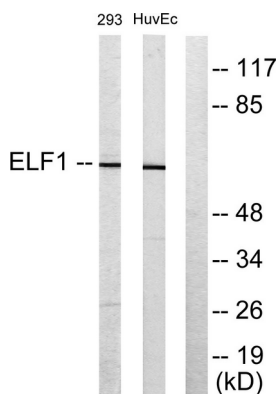
ントが生成されます。[RefSeq 提供、2009 年 2 月]機能: LYN および BLK プロモーターを活性化する転写因子。T 細胞受容体を介した HIV-2 遺伝子発現のトランス活性化に必要と思われます。HIV-2 エンハンサーの 2 つのプリンリッチモチーフに特異的に結合します。PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。類似性: ETS ファミリーに属します。類似性: 1 つの ETS DNA 結合ドメインを含みます。サブユニット: RB の低リン酸化型に結合します。特定の遺伝子を制御するために、他の転写因子と相互作用する可能性があります。RUNX1 と相互作用する。組織特異性: 胎児組織では、心臓、肺、肝臓、腎臓で高発現し、脳では弱発現する。成人では、膵臓、脾臓、胸腺、末梢血白血球で高発現し、心臓、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、前立腺、卵巣、小腸、結腸で中等度の発現を示し、脳と精巣では弱発現する。

研究分野

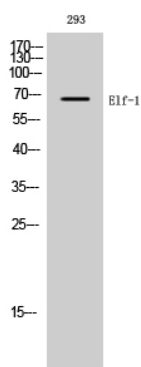
画像データ



ELF1 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



ELF1 抗体を用いた 293 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した Elf-1 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット分析